

2023年7月31日

北海道大学関西同窓会

関係各位

8月二水会は あまりの酷暑のため9月に延期いたします。

すでに8月分にお申し込みの方はこのままキープいたしますので

ご都合が悪い場合はご連絡くださいませ。

開催日時：9月13日(水) 12:00~

会場：北大会館(大阪市北区梅田1-2-2-200 大阪駅前第2ビル2階)

会費：2000円

締め切り：9/9 締切厳守!!

今回はZoomミーティングはなじみませんのでURLの配信は致しません。

皆さん!

8月の二水会は講師の都合の問題もあり、同窓生参加の討論会を企画しました。

討論会のテーマは、『大学論』です。

ご存じ国際卓越研究大学(卓越大)に東大、京大、東北大の3校が選ばれました。

10兆円規模の大学ファンドの運用益一年間数百億円を3校に配分して、研究の尻たたきをするという構想です。

配分額も大きいですが、厳しい成果を求められます。大学改革を振り返ると、

○ 一般教養課程の廃止と大学院大学への移行

○ 1991年の国立大学法人化

その後の卓越大の選抜

これらの動きは、国が大学をお金でコントロールして大学に成果を求める

「新自由主義経済を導入した大学経営論」のように見えます。

いかがでしょうか？北大は今でも一定金額(10億円?)を用意して

国に認めてもらう大学になっていません。

オーバードクターの研究職の方々も非正規が多く、ドクターコースへ進む方々がこのところがた減りとのことではありませんか。明らかに国は大学にかかる費用を絞り込もうとしています。

この辺りをいろいろ皆さんと意見交換したいなと思っています。

産学連携を絡めて意見交換してもいいと思います。

討論会の意見交換を整理して「校友会」や「北大」へ提言できれば成果ありと言えるかと思います。

皆さんの積極参加を期待いたします。

### 「大学論」論点整理

順不同です。

1) 大学が果たす役割とは？

グローバリズムの台頭、新自由主義経済の興隆、IT革命、AI-チャットJTPの登場等新たな大学を取り巻く状況に大学はどう向き合うか？

「北大」ビジョンの中の理念 「地域と世界の課題解決に貢献する北大」

## 2) 大学改革の現状をどう見るか？

国立大学法人は、法人化以降 18 年目に入り、次年度には国立大学法人が達成すべき業務運営に関する 中期目標・中期計画を策定する

6 年区切りの第 4 期というターニングポイントを迎えます。

『選択と集中』—例えば卓越大学選択(東大・京大・東北大)などに見る大学間の順位付けに応じた大学運営委資金の投入は何をもたらすか？

## 3) 日本の研究力の低下をどう見るか？

1998~2000 年平均 日本 4 位

2018~2020 年平均 日本 12 位 ↓

## 4) 研究職の非正規化や雇止めはどうにかならないのか？

## 5) 日本学術会議への政治圧力をどう見るか？

いまだに何名かの委員は未承認。政治のコントロールか？

## 6) 北大創基 150 年を迎えての 2021・ビジョン 1、2、3 に見る 寶金総長の北大「比類なき大学」を目指して ご意見・評価？

— 「Be ambitious」 85 号 寶金総長ご挨拶 参照 —

## 参加申し込み方法

参加ご希望の方は下記項目を書いて、メールで北大会館にご返信願います。

1 年以内に参加なさったことがある方はお名前のみで結構です。

①氏名 ②卒年 ③学部 ④連絡先

締切後にお申し込みの方はお弁当手配が間に合いませんので、必ず北大会館まで電話してください。

7/31 時点の参加者 3 名

植松高志 (S48 法) 伊藤靖久 (S42 工) 日下大器 (S37 農)

連絡担当 藤田